



■病院の概要

令和4年11月1日現在

医師数：102人
 病床数：539床（一般539床）
 外来患者数：912人/日（令和3年度実績）
 入院患者数：320人/日（令和3年度実績）
 待 遇：1年目500千円/月
 2年目530千円/月

指導医数	研修医数	救急搬送患者数	手術件数
50人	12人	2424人	3060件
		(令和3年度実績)	(令和3年度実績)

■初期臨床研修プログラムの一例

1年次において、内科系24週（血液腫瘍・代謝内分泌・呼吸器・消化器・循環器）、小児科4週、外科8週、救急(麻酔)4週、救急(選択)8週（外科・整形・小児）、麻酔科4週を必修としています。2年次においては、地域医療4週、産婦人科4週、精神科4週を必須とし、40週を自由選択期間としています。研修医の希望に合わせて、適切に研修できるようローテートする方式としています。

1年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科系						外科	麻酔科	救急(麻酔)	救急(選択)	小児科		
2年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択科目									
4月													3月

■指導医からのメッセージ

医学部卒業後の医師として最初の2年間は、肉体的・精神的に最も柔軟性を持った貴重な時期です。この期間の患者さまとの診療経験を生かして、それをどれだけ自らの知識と技術に変換し蓄積できるかが、将来の医師生活に大きく関わってきます。旭川厚生病院における研修制度では、周産期医療から小児救急医療、そして成人期の急性期および慢性期の疾患を対象とした幅広い医療、特に地域がん診療連携拠点病院としての専門的医療など、さらには緩和医療に至るまでの多くの診療を経験し学べるチャンスがあります。まずは当院のプログラムを見ていただき、そして共に働くことを是非ご検討ください。



副院長(兼)臨床研修センター長(兼)周産期母子医療センター長(小児科) 白井 勝

■研修医からのメッセージ

当院の研修の1番の魅力は、自由度の高い研修内容です。研修医に与えられる仕事の量は基本的に負担のない量であり、上級医と共により多くの経験をする事も与えられた仕事をしっかりこなした上で、研修医室で自習の時間を取ることもできます。臨床研修センターの方々や各科の先生方もとても親身に相談に乗ってくださるので、研修内容の希望に関して手厚いサポートが受けられます。自由には責任が伴います。救急車の受入れ判断も研修医が担当しますし、患者さまの全身管理に関して、仲間や上級医と相談しながら悩み、治療していくこともあります。しかし、この経験は3年目以降に向けて非常に大きな糧になると思います。是非一度見学にいらしてください。



1年次研修医 池田 晃



■連絡先

ADDRESS
 〒078-8211 旭川市1条通24丁目111番地3
 PHONE
 0166-33-7171
 担当部署
 旭川厚生病院総務課（臨床研修担当）
 E-MAIL
 rinsho_kenshu@ja-hokkaidoukouseiren.or.jp
 URL
 http://www.dou-kouseiren.com/byouin/asahikawa/

■専門研修プログラム（基：基幹施設、連：連携施設）

基	連	領域	基	連	領域	基	連	領域
●		内科	●		眼科			臨床検査
●		小児科	●		耳鼻咽喉科			救急科
●		皮膚科	●		泌尿器科			形成外科
		精神科			脳神経外科			リハビリテーション科
●		外科	●		放射線科			総合診療
●		整形外科	●		麻酔科			
●		産婦人科	●		病理			